

9月の農薬

No. 6 - 1

平成17年9月1日

この資料の活用は、窓口での即対応と今月と翌月の農協在庫計画にもご利用できます。

水稲

- 収穫適期を逃さず適期刈取りを行い、高品質で良食味の米を作るよう指導ください。
- 斑点米カメムシ類の防除は、収穫期（刈取時期）に留意して使用するようご指導ください。

りんご

- キンモンホソガ（ギンモンハモグリガ）の防除とりんごの落果防止剤の散布時期です。
- 晩生種では、9月中旬以降降雨が続く場合は更にオーソサイド水和剤800倍を散布する。
（すす点・すす班病）

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
9月上旬	オーソサイド水和剤	500g	-	斑点落葉病 すす点病	800倍 125g	700ℓ 875g	い ず れ か 混用散布する。
	有機銅剤 オキシンドー水和剤80 ドキリン水和剤80	500g	-	斑点落葉病 すす点病	1,200倍 83g	700ℓ 581g	
	ドキリンフロアブル	500ml	-	斑点落葉病 すす点病	1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	
	アクトラ顆粒水溶剤	500g	-	モモシンクイガ キンモンホソガ	2,000倍 50g	700ℓ 350g	
9/上中旬	ストップボール液剤	500ml	-	りんご落果防止	1回目 1,500倍	500ℓ 335ml	収穫25日～7日 前、2回目散布 する場合は1回 目散布10日後
					2回目 1,500倍	500ℓ 335ml	
9月中旬	スパットサイド水和剤	500g	-	すす点・すす班病 斑点落葉病・炭そ病	800倍 125g	700ℓ 875g	中・晩生種にのみ散布する
	ロディー水和剤	500ml	○	キンモンホソガ ギンモンホソガ	1,000倍 100g	700ℓ 700g	晩生種にのみ散布する

※スパットサイド水和剤は、収穫前3日前までに適用拡大になりました。

もも

- せん孔細菌病は、今の時期に菌密度を下げるのが重要です。収穫後の防除を徹底しましょう。
（ICボルドー412を7～10日間隔で2回散布する）

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
9月上旬 （収穫後）	スミチオン乳剤	500ml	-	せん孔細菌病	1,000倍 100ml	400ℓ 400ml	い ず れ か
	スプラサイド水和剤	500g	○	モモハモグリガ （コスカシバ）	2,000倍 50g	400ℓ 200g	
	展着剤	500ml	-		20ml	80ml	
	ICボルドー412	5kg 10kg		せん孔細菌病	30倍 3.4kg	400ℓ 13.6kg	
園地の清掃 空袋等を処分して下さい。灰星病の被害果を集め土中深く埋没してください。							

コスカシバ対策（もも、おうとう）
10月以降の落葉期に枝幹に散布する。ラビキラー乳剤200倍（50ml/10ℓ）

かき

- 落葉病、炭そ病の仕上げ防除をしましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
9/上旬	バルコート水和剤	500g	-	すす点病 炭そ病	1,000倍 100g	500ℓ 500g	収穫14日前ま でに使用する。
	展着剤	500ml	-	すす点病 炭そ病	20ml	100ml	

ぶどう

- 収穫終了後の防除は、極力間を開けないで防除しましょう。
散布直後に降雨があった場合は追散布を実施しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
9月 （収穫後）	ICボルドー66D	5kg	-	さべびと 病病	50倍 2kg	300ℓ 6kg	1.5倍で幹に塗 布する。
	スミチオン水和剤	500g 1kg	-	ブドウウカミキリ フタテンヒメヨコバ イコガネムシ類	800倍 125g	300ℓ 375g	
	ガットサイドS	1ℓ 5ℓ	-	キクイムシ			
9月上旬 （欧州種）	ICボルドー48Q	5kg	-	さべびと 病病	50倍 2kg	300ℓ 6kg	棚上散布する。
9月 （欧州種） （収穫後）	ICボルドー66D	5kg	-	べとと 斑病	50倍 2kg	300ℓ 6kg	
	スミチオン水和剤	500g 1kg	-	べとと 斑病	1,000倍 100g	300ℓ 300g	

トラカミキリ対策

10月以降、休眠期にラビキラー乳剤200～300倍を母枝・古つるを中心に十分散布する。
（但し、ガットサイドSを使用した場合は散布しない。）

西洋なし

- 輪紋病は8月以降も降雨が続く場合、9月上旬頃まで感染しますので、散布間隔を開けずていねいに防除しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
9月上旬	アミスター10フロアブル	500ml	-	輪紋病	1,000倍 100ml	600ℓ 600ml	い ず れ か 混用散布する。
	ドキリン水和剤80	500g	-	輪紋病	1,200倍 83g	600ℓ 498g	
	ストロビードライフフロアブル	250g 500g	-	輪紋病	2,000倍 50g	600ℓ 300g	
	ダズバン水和剤	500g	○	シンクイムシ イガラムシ グンバイムシ	1,000倍 100g	600ℓ 600g	
9月中下旬	ダイアジノン水和剤	500g	-	カメムシ類 シンクイムシ	1,000倍 100g	600ℓ 600g	い ず れ か 散布する。
	スタークル顆粒水溶剤	500g	-	カメムシ類 シンクイムシ	2,000倍 50g	600ℓ 300g	
	オキシラン水和剤	500g	-	輪紋病 炭そ病	600倍 166g	600ℓ 966g	
	ドキリンフロアブル	500ml	-	輪紋病 炭そ病	1,000倍 100ml	600ℓ 600ml	
9月中下旬	トリブジンM水和剤	500ml	-	輪紋病	1,500倍 67g	600ℓ 450g	
	展着剤	500ml	-	輪紋病 炭そ病	20ml	120ml	

※ストロビードライフフロアブルはおうとうには薬害の恐れがあるので飛散しないよう注意する。
※アミスター10フロアブルは、りんごの「あかね等」に薬害が出るので絶対飛散しないようにする。

果樹の除草剤

- ラウンドアップの秋期散布（11月中旬）は翌春の雑草発生を長く抑えます。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	10a当り使用量	効果発現	持続期間	特性と作用
秋期	ラウンドアップハイロード	500ml	-	200～500ml 水量 25ℓ	7～14日後	60日	一年生雑草全般
				400～1,000ml 水量 50～100ℓ			多年生雑草



もっと近くに。

全農山形県本部 生産資材部

お問い合わせ・ご注文の電話番号
023-634-8157

ご注文の際のFAX番号
023-634-8182

農薬はJAマークの製品を！

先入れ先出しの励行を！

この資料の活用は、窓口での即対応と今月と翌月の農協在庫計画にもご利用できます。

キャベツ・はくさい

○アブラナ科野菜は、コナガの他、アオムシ、ヨトウムシ類が好んで加害するので、同時防除剤を上手に活用しましょう。

○各害虫共に、発生初期（若令幼虫）の時期に早めに防除しましょう。

(1) コナガ対策

分類	薬剤名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
A	ジェイエース水溶剤	100g 500g	—	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、アブラムシ類他	1,000倍	200ℓ	A：有機リン系薬剤
	サイアノックス乳剤	500ml	—		1,000倍	200ℓ	
B	コテツフロアブル	250ml 500ml	○	コナガ、アオムシ	2,000倍	200ℓ	B：呼吸系阻害剤 蚕毒・魚毒が強いため、注意する。
C	エスマルクDF	100g 500g	—	コナガ、アオムシ	1,000倍	200ℓ	C：B・T剤（エスマルクは生菌剤）
D	パダンSG水溶剤	100g 500g	○	コナガ、アオムシ	1,500倍	200ℓ	D：ネライストキシン系薬剤 蚕毒・魚毒が強いため注意する。
E	カスケード乳剤	500ml	—	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ他	4,000倍	200ℓ	E：I・G・R剤 蚕毒が強いため注意する。 キチン合成阻害作用なので遅効性である。
	ノーモルト乳剤	500ml	—		2,000倍	200ℓ	
F	マブリック水和剤20	250g 500g	○	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシ類他	2,000倍	200ℓ	F：合成ピレスロイド剤 蚕毒・魚毒が強いため注意する。
	アディオソ乳剤	500ml	—		2,000倍	200ℓ	
G	アフアーム乳剤	500ml	—	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ	2,000倍	200ℓ	G：GABA系阻害剤 抵抗性が発達しやすいので、年1回の使用とする。
H	ランネート45DF	100g	○	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシ類他	1,000倍	200ℓ	H：カーバメート剤 眼に対して刺激があるので、必ずメガネ、マスクを着用し散布する。
I	スピノエース顆粒水和剤	100g	—	コナガ、アオムシ	5,000倍	200ℓ	I：マクロライド系薬剤 蚕毒が強いため注意する。
J	トルネードフロアブル	250ml 500ml	—	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ	2,000倍	200ℓ	J：オキサダイアジン系薬剤 蚕毒が強いため注意する。
K	プレオフロアブル	100ml 500ml	—		1,000倍	200ℓ	
					100g	200ml	K：新しいタイプの殺虫剤 天敵、有用昆虫に対し影響が少ない。耐水性・残効性に優れる。

※1 各薬剤をローテーションで使用する。

※2 コテツフロアブル及びアフアーム乳剤は年1回の使用とし、コテツフロアブルは幼苗期（1～3葉期）は薬害が出る恐れがあるので使用しない。

※3 コナガは、抵抗性が発達しているところが多いので、被害が出ない程度まで抑えることが重要です。

(2) 軟腐病対策（作物登録のある薬剤を選んでご使用ください）

軟腐病はキスジノミハムシなどの害虫の加害を受けた傷口から病原菌が侵入するので、害虫の防除を徹底することが重要です。

また、台風など（強風）により受けた傷口からも感染する場合もあるので、被害があった場合はただちに殺菌剤を散布しましょう。

分類	薬剤名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
A	カスミンボルドー	500g	—	軟腐病他	1,000倍	200ℓ	A：抗生物質・銅剤 予防効果と治療効果を併せ持つ剤である。
B	スターナ水和剤	100g 500g	—	軟腐病	1,000倍	200ℓ	B：オキシリニック酸 予防効果のみである。
C	ストマイ液剤	500ml	—	軟腐病	1,000倍	200ℓ	C：抗生物質（ストレプトマイシン） 治療効果もある。

※1 A・B系統の薬剤を中心に使用し、予防防除を行うことが重要です。本病害は、バクテリア（細菌）性の病害なので、他病害防除も兼ねて、銅剤を中心に使用し防除します。尚、治療効果のある薬剤は少ない現状にあります。

※2 ベと病と症状が似ているので、見分ける場合は、病斑部分の臭いを調べる（強い腐臭がある場合は、軟腐病と思われます）。

(3) ベと病対策（作物登録のある薬剤を選んでご使用ください）

分類	薬剤名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
A	ダコニール1000	500ml	—	べと病	1,000倍	200ℓ	A：有機塩素系薬剤 予防効果のみである。
B	ビスダイセン水和剤	500g	—	べと病他	600倍	200ℓ	B：有機硫黄系薬剤 予防効果のみである。
	ペンコゼブ水和剤 （ジマンダイセン水和剤）	500g	—		500倍	200ℓ	
C	リドミルMZ水和剤	500g	—	べと病	1,000倍	200ℓ	C：マンゼブ・メタラキシル剤 予防・治療両効果を合わせ持つ。

※1 A・B系統の薬剤を中心に使用し、予防防除を行うことが重要です。発病した場合はただちにC系統の薬剤を散布する。また、本病害は雨等の水分により、感染率が高まるので降雨があった場合、直後に防除すると効果的です。

※2 病斑は軟腐病と似ていますが、腐臭が少ないのが特徴です。

(4) ナメクジ類（ウスカワマイマイ等を含む）の対策

A 作物の生育初期で葉が繁茂する前は**ナメキール**等の**粒剤タイプ**の薬剤を株間・うね間等に**10a当り100g**の割合で（1カ所当り5～10粒）配置する。（野菜畑・庭等で使用可）

B 生育期中～後期は葉が繁茂するので、**液剤タイプ**の散布剤**マイキラー**を**200倍**を**150ℓ/10a程度**散布する。（畑作物栽培ほ場周辺および、花卉栽培はハウス内で使用可）

※1 ただし、上記薬剤はいずれもメタアルデヒドが成分で、残効は短いので、発生初期に処理すると効果的です。

※2 また、降雨に合うと流亡するので、天候を見はからって処理すること。

※3 ナメクジ類及びウスカワマイマイ類は、湿度が高い夜間に食害するので、夕方の処理が効果的です。